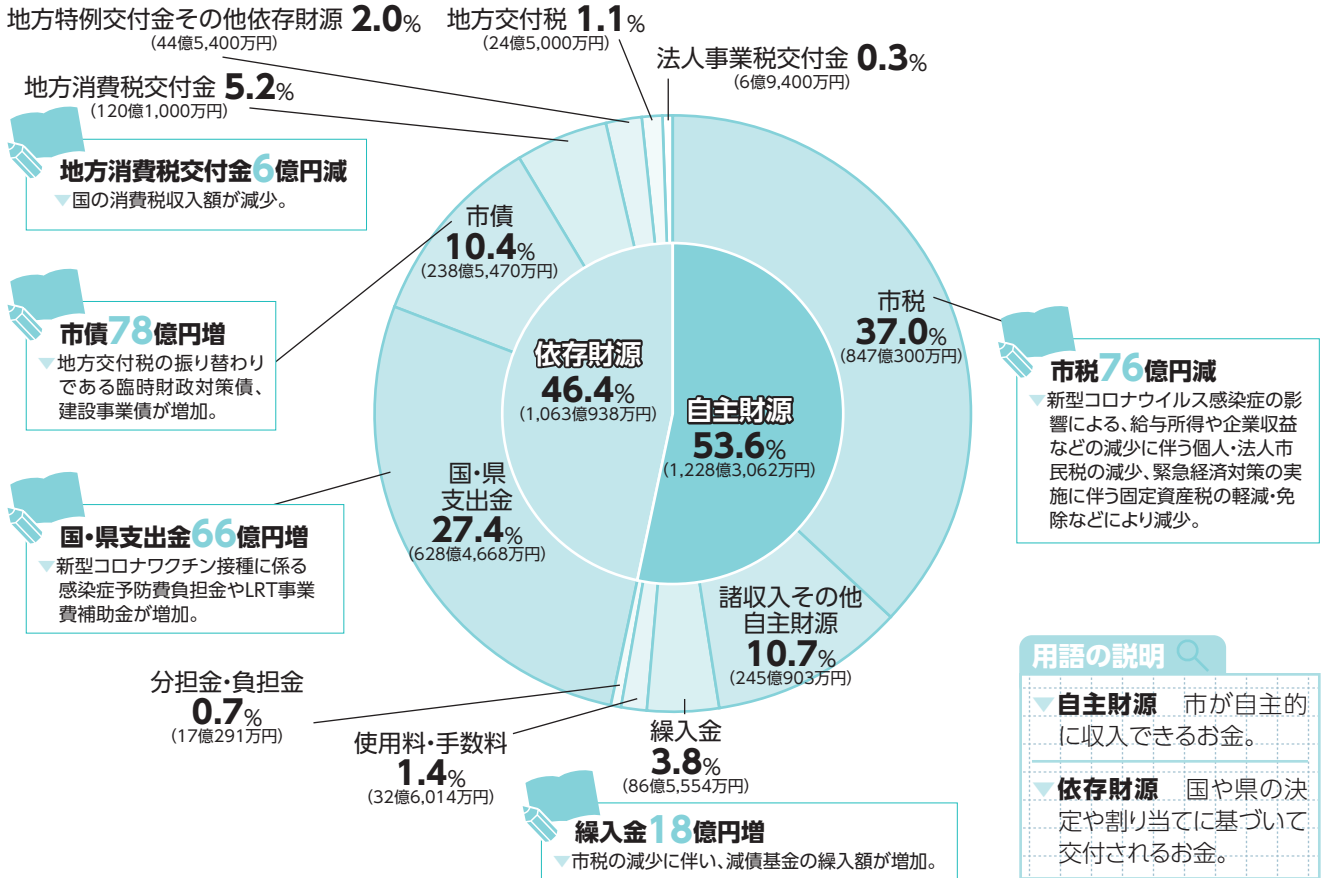


# 令和3年度宇都宮市の予算

## 「スーパースマートシティの実現」を目指して

### 歳入



### 用語の説明

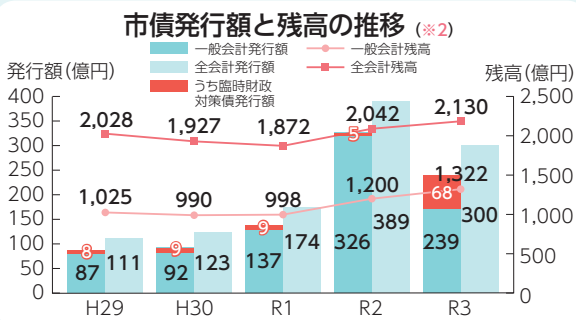
- ▼ **自主財源** 市が自主的に収入できるお金。
- ▼ **依存財源** 国や県の決定や割り当てに基づいて交付されるお金。

**市債残高** 一般会計 1,322 億円 (121 億円増)  
全会計 2,130 億円 (88 億円増)

市債とは、年度間の財政負担を平準化し、将来の市民の皆さんにも公平に費用を負担いただくために長期的に借り入れる資金です。道路や公園・学校などの公共施設を整備するために長期的に借り入れる建設事業債や、財源の不足を補うために特例として発行し、後年度に地方交付税で措置される臨時財政対策債などがあります。

今年度は、市税収入減少に伴う、臨時財政対策債の活用により、市債残高は前年度より増加しますが、将来負担に關する財政指標は健全性を維持しています。

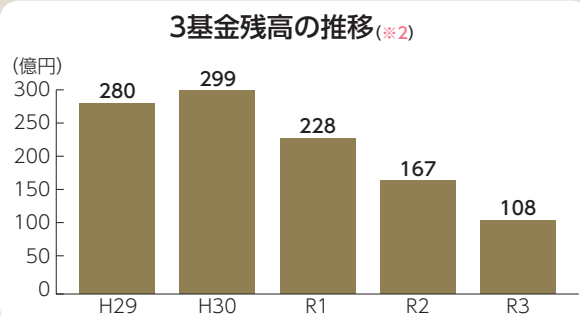
今後も計画的に活用し、健全な財政運営に努めていきます。



**基金残高** (※1) 108 億円 (取崩額 60 億円)

基金とは決まった目的のために積み立てている資金で、財政調整基金・減債基金・公共施設等整備基金などがあります。今年度は、市税収入が減少する中、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症への対応や、公共施設の老朽化対策など着実に進めていくため、これまで積み立ててきた基金を効果的に活用することとし、合計60億円を取り崩しています。

今後も将来の財政需要や社会経済状況の変化に対応できるよう、歳入の確保と歳出の抑制に取り組み、基金残高の確保に努めていきます。



◎この特集の金額表示 増減額の表記は前年度の予算額と比較したものです。また、表示単位未滿を四捨五入しているため、合計金額と合わない場合があります。

※1 財政調整のための3基金(財政調整基金・減債基金・公共施設等整備基金)の合計。※2 R1までは決算額、R2は決算見込額です。

令和3年度  
一般会計当初予算

2,291億4,000万円

対前年度予算比

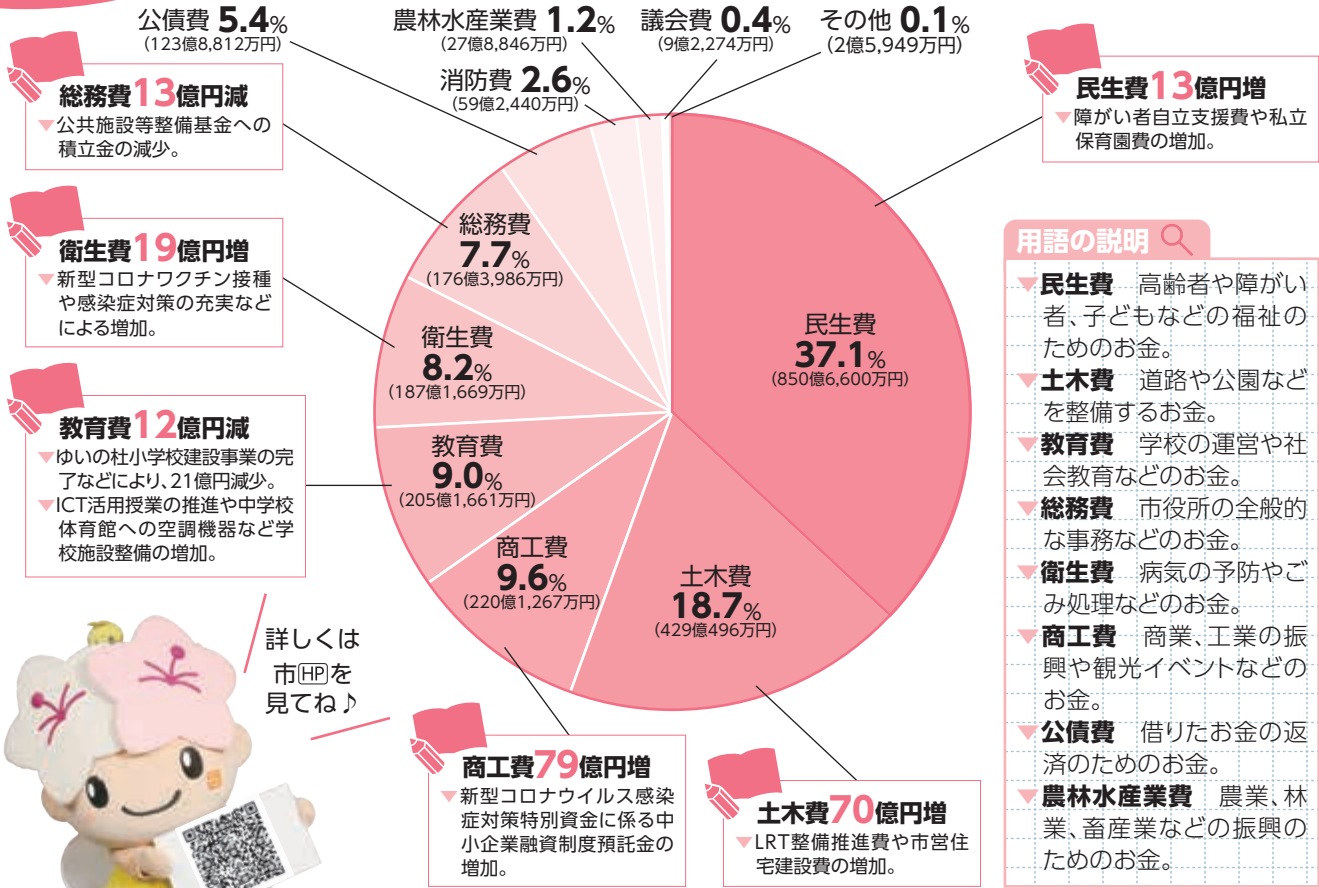
161.4億円(7.6%)増

特集  
③

令和3年度予算は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と、社会・経済活動の両立に最優先で取り組みます。

また、「スーパースマートシティ※3」の実現に向け、「第6次総合計画」に掲げた6つの「未来都市」の具現化や、まちづくりの基盤となるネットワーク型コンパクトシティ(NCC)形成の推進、子育てや教育・福祉など、あらゆる分野における先進技術の利活用の推進に、優先的・重点的に取り組みます。

歳出 (目的別)



**総務費13億円減**  
▼公共施設等整備基金への積立金の減少。

**衛生費19億円増**  
▼新型コロナワクチン接種や感染症対策の充実などによる増加。

**教育費12億円減**  
▼ゆいの杜小学校建設事業の完了などにより、21億円減少。  
▼ICT活用授業の推進や中学校体育館への空調機器など学校施設整備の増加。



詳しくは市庁を見てね♪

**商工費79億円増**  
▼新型コロナウイルス感染症対策特別資金に係る中小企業融資制度預託金の増加。

**土木費70億円増**  
▼LRT整備推進費や市営住宅建設費の増加。

**用語の説明**

- ▼**民生費** 高齢者や障がい者、子どもなどの福祉のためのお金。
- ▼**土木費** 道路や公園などを整備するお金。
- ▼**教育費** 学校の運営や社会教育などのお金。
- ▼**総務費** 市役所の一般的な事務などのお金。
- ▼**衛生費** 病気の予防やごみ処理などのお金。
- ▼**商工費** 商業、工業の振興や観光イベントなどのお金。
- ▼**公債費** 借りたお金の返済のためのお金。
- ▼**農林水産業費** 農業、林業、畜産業などの振興のためのお金。

歳出 (性質別で見た場合)

義務的経費	その他の経費																						
1,041億2,542万円 (3億円増)	858億2,300万円 (12億円増)																						
<table border="1"> <tr><td>扶助費</td><td>26.4%</td></tr> <tr><td>人件費</td><td>13.6%</td></tr> <tr><td>公債費</td><td>5.4%</td></tr> </table>	扶助費	26.4%	人件費	13.6%	公債費	5.4%	<table border="1"> <tr><td>物件費</td><td>13.7%</td></tr> <tr><td>貸付金</td><td>8.8%</td></tr> <tr><td>補助費等</td><td>6.7%</td></tr> <tr><td>繰出金</td><td>6.5%</td></tr> <tr><td>維持補修費</td><td>0.9%</td></tr> <tr><td>出資金</td><td>0.7%</td></tr> <tr><td>積立金</td><td>0.1%</td></tr> <tr><td>予備費</td><td>0.1%</td></tr> </table>	物件費	13.7%	貸付金	8.8%	補助費等	6.7%	繰出金	6.5%	維持補修費	0.9%	出資金	0.7%	積立金	0.1%	予備費	0.1%
扶助費	26.4%																						
人件費	13.6%																						
公債費	5.4%																						
物件費	13.7%																						
貸付金	8.8%																						
補助費等	6.7%																						
繰出金	6.5%																						
維持補修費	0.9%																						
出資金	0.7%																						
積立金	0.1%																						
予備費	0.1%																						
<p>▼保育園などの入所児童の増加への対応や子ども医療費助成の高校3年生相当年齢までの対象拡大に伴う増加。</p>	<p>▼新型コロナワクチン接種やICT活用授業の推進などにより物件費が増加。</p> <p>▼中小企業融資制度預託金の増により貸付金が増加。</p>																						
投資的経費																							
391億9,158万円 (34億円増)																							
▼LRT整備事業や市営住宅建設費の増加、ゆうあいひろばの遊具新設に伴う増加。																							

特別会計 1,160億円 (12億円増)  
企業会計 460億円 (13億円増)

特別会計の特色

- ▼高齢化の進行に伴い、介護保険特別会計が増加。
- ▼特別競輪の開催により、競輪特別会計が増加。

特別会計	当初予算額	特別会計	当初予算額
国民健康保険	484億9,061万円	駐車場	1億4,807万円
介護保険	356億 259万円	都市開発資金事業	1億9,722万円
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	1億6,100万円	鶴田第2	7億5,490万円
後期高齢者医療	59億7,810万円	宇大東南部第1	5億4,929万円
生活排水処理事業	16億7,132万円	宇大東南部第2	13億1,582万円
競輪	201億3,791万円	岡本駅西	7億9,095万円
		育英事業	2億2,261万円

企業会計の特色

- ▼上下水道施設の耐震化や老朽化対策など、建設改良費が増加。

企業会計	当初予算額
水道事業	207億 732万円
下水道事業	223億7,692万円
中央卸売市場事業	29億2,826万円